

答申に盛り込む項目と内容（案）

1. 答申にあたって（会長挨拶）

◆ここでは、諮問から答申までの経緯等を述べます。

《内容の例》

- 審議経過
- 社会経済状況の変化、今後の課題等
急速に進行する少子・高齢化や人口減少社会への対応、情報社会の進展、
グローバル化の進展など
- 答申の特徴
これから先の長期的動向も見据えた10年後のまちの姿を描く

2. 改定にあたっての考え方

(1) 共通の重要テーマ等

◆ここでは、新たなまちの姿を描く上で、共通する重要テーマ等の基本事項について述べます。

《内容の例》

- 少子・高齢化への対応
- 地域経済・都市基盤の強化
- 様々な人の社会参加、地域参加、支えあい
- 情報通信技術が活かされた効率的で満足度の高いサービス 等

(2) まちの姿を描く上での体系について

◆ここでは、まちの姿を描く上での体系について述べます。

《内容の例》

- 審議会においては、現行の4つの領域の構成を基本として、まちの姿の検討を行った。まちの姿をまとめるにあたっては、構成や配置について改めて確認、整理されたい。

3. 中野のまちの将来像と10年後に実現するまちの姿

◆ここでは、グループ別討議整理シートの内容を踏まえて、まちの将来像と10年後に実現するまちの姿について述べます。

《内容の例》

- 10年先のみならず、その先の20年後、30年後をも見据え、社会経済状況の動向等を十分勘案した、新たなまちの姿を描く上での視点、考え方など
- 10年後に実現するまちの姿の例

4. 資料

- (1) 諮問内容
- (2) 中野区基本構想審議会条例および委員名簿
- (3) 審議会の開催状況
- (4) まちの姿の討議概要